

県立岡山操山高校ホール新築等基本設計・実施設計委託
公募型プロポーザル説明書【別添】

施設整備の概要

岡山県立岡山操山高等学校



産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業

2040 年を見据えた新たな高等学校教育の在り方を示す「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）～2040 年に向けた「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」～」の確実な実装を図るため、各都道府県において今後本格化する「高等学校教育改革実行計画」の策定や推進に先立ち、教育内容の抜本的改革と、それを可能にする環境整備を一体的に行う改革を先導する拠点を先行して創設し、その取組・成果を地域全体へ普及させるパイロットケースを構築する。（文部科学省ホームページより抜粋）

採択事業の概要

事業全体のイメージ

【岡山県】理系的素養・文理横断型高度探究人材育成の拠点形成

岡山県立岡山操山高等学校
(全日制・通信制/普通科)

アド	理数	多様
	○	

- 岡山県の産業人材育成においては、DX化やGX化に伴う変化に対応した、実践的能力を有するイノベーション人材育成が課題
- 普通科高校においては、文系理系問わず、理系的素養を身に付け、文理横断的に課題解決に取り組む資質・能力の育成が急務
- 文理横断的で探究的なカリキュラム開発により、理系的素養や科学的視野を備えた、高度探究人材の育成を目指すモデルを構築

人材育成の現状・課題

【岡山県における現状・課題】

- 2040年には生産年齢人口が約15%減少し、専門職や現場人材が決定的に不足
- 本県の理系選択率は43%と比較的高いが、文系選択者の中には、理系的素養を身に付けることなく大学に進学する生徒も多い
- 将来的に不足する人材の確保につなげるため、理系的素養を身に付け、文理の枠を超えて高度な探究ができる人材の育成が必要

【人口推計】2040年の生産年齢人口：2025年と比較して約15%減少

20～24歳を中心とした若い世代の転出超過が顕著

【就業構造】2040年：事務職5.6万人の余剰が生じる一方、専門職1.8万人、現場人材4.2万人の不足を予測。

【学科構成】公立全日制高校の総募集定員に対する定員の比率
普通系学科55%、職業系学科40%、総合学科5%

具体的な事業内容

【拠点における主な改革目標】※【 】はR7現況値とR13目標値

- ・大学理系学部・学際系学部への進学率【37.5%→50%】
- ・探究活動の成果を活用した大学進学率【29.5%→50%】
- ・生徒の科学技術に対する肯定感・効力感【現況値なし→80%】

【取組内容・創出するパイロットケース】

(教育改革の内容)

- ・学校設定科目「**SOZAN STEAM**」を中心に、**サイバニックフィジカルAI**等、最先端の科学技術に触れ、理系的素養を涵養する、**文理横断的で探究的なカリキュラム**の開発
- ・出前講座や、大学のラボで指導を受けるアカデミック・インターンシップ等、**学びを深化させたい生徒の主体的活動を展開する「放課後サイエンス・コミュニティ」の実施**
- ・協力校等とともに、理系女子のロールモデルに触れる機会の創出や、理系志望の女子生徒の交流促進を行うなど、県内の**女性理系研究者育成ネットワーク**の構築

(施設・設備の整備)

大学の教員から探究活動の指導を受けたり、企業と連携した取組を行うなどに活用する新ホール「**SOZAN STEAM SQUARE (仮)**」の整備等

【他校への普及方策】

カリキュラム開発の成果や作成した教材等について研修会等で発表、共有を実施

【その他】

連携機関の研究者や学生等による、放課後の学習支援、探究支援の実施

実施体制

協力校	岡山県立岡山一宮高等学校、倉敷天城高等学校、玉島高等学校、津山高等学校、岡山城東高等学校、東岡山工業高等学校
主な連携機関 等	岡山大学、筑波大学、おかやま・スタートアップ支援拠点運営委員会、BeLive実行委員会等



採択事業の概要

● 事業の概要と目的

岡山操山高等学校は、改革先導拠点として「理系的素養・文理横断型高度探究人材育成の拠点形成」事業に取り組んでいく。大学や企業等と連携した探究的な学びを通して、人文社会的視座やグローバルな視野に加えて、最先端の科学技術についての知識や統計的思考力等の高度な理系的素養を身に付け、文理横断的に社会課題に立ち向かうことのできる人材を育成することを目的とし、課程や学校・社会の境界を越えて多様な協働を誘発する新ホールの整備や、自律的な協働学習や伴走型の個別支援を可能にする通信制コモンルームの増築整備を実施する。

採択事業の概要

● 新ホールで実施する教育内容

本事業の核となる施設として整備する。授業、放課後の探究活動、大学・企業との共同プロジェクト、国内外の他校との交流など、多様な人と思考が交差する自由な「知の越境」の空間として運用する。生徒が主体的に社会への発信を行い、外部からの刺激を日常的に受けることで、知的好奇心と探究心を最大化させる拠点を目指す。

【主な活用シーン】

- ・ 探究交流 国内外の他校との合同発表会やポスターセッション
- ・ 高度な学び 先端研究者による講演や、企業と連携した起業家教育講座
- ・ 探究支援 大学生・院生による探究活動の支援やデータサイエンス講義

採択事業の概要

● 通信制コモンルームで実施する教育内容

国公立大学や理系学部への進学者が増加傾向にあり、ニーズに応えるため、通信制生徒が自律的に学習を深め、全日制生徒や外部専門家と協働できる拠点として整備する。また、キャリアカウンセリングルームを併設し、メンタルカウンセリング、キャリアコンサルティング、外部機関（地域若者サポートステーション等）と連携した専門的な相談に対応する。

【主な活用シーン】

- ・ 全通協働 全日制・通信制の生徒が混成チームで取り組む課題解決型学習(PBL)
- ・ 心理的ケア・キャリアカウンセリング 専門的カウンセリングの実施
- ・ 個別最適な学びの補完 高度な理系科目のサテライト受講

計画施設の概要（敷地概要）

● 敷地位置

岡山市中区浜412

● 区域区分

市街化区域

● 用途地域等

第二種中高層住居専用地域

● 敷地面積

54,861 m²



計画施設の概要（発表ホール）

- **工事種別、建築物の構造・規模**

新築、構造未定、地上 1 階、650m²程度

- **主な必要諸室**

ホール、多目的ルーム（移動間仕切りで 2 室に分割）、
多目的ルーム（講師控室）、倉庫、便所、玄関、エントランスホール 等

計画施設の概要（発表ホール）

● 主要要求事項

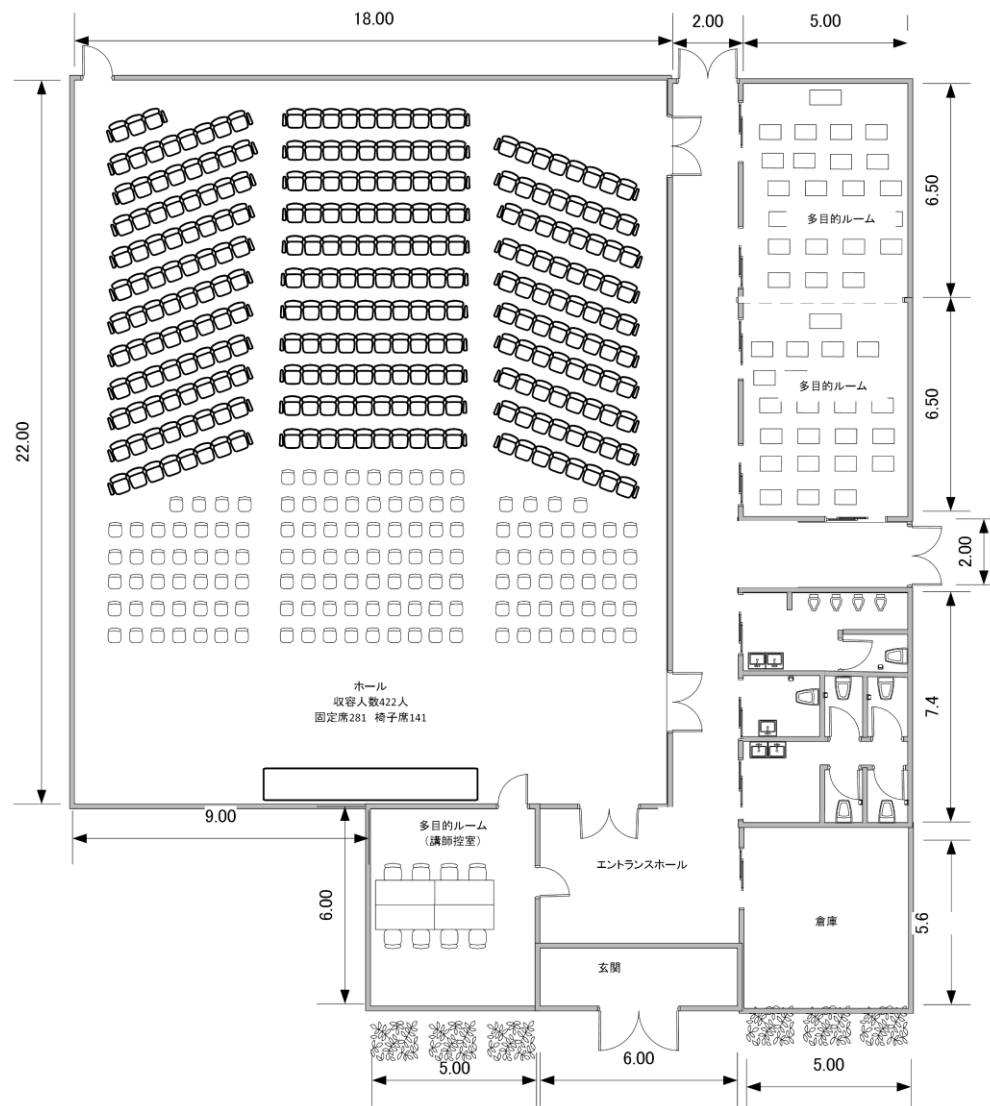
区 分	内 容
建物配置	・ 650㎡を想定しているが、多少の変動は問題ない。 ・ 隣接する音楽堂（木造・平屋）との外壁間の中心線から 3 m 超離して配置とすること。 ・ できる限り西側のフェンスに近づけた配置とすること。
デザイン	・ 圧迫感のない、洗練された明るい外観とすること。 ・ バリアフリーに配慮すること。
平面計画	・ 平面図のイメージにかかわらず、空間デザインや動線など専門的見地により、各室を適切に配置すること。
ホール	・ 固定観覧席280席、稼働式の椅子を120脚以上設置できるフラットなスペース及びステージを備えること。 ・ 固定観覧席は階段状とすること。 ・ 主な使用方法是講演や発表となるので、それに相応しいデザイン ・ 空間・音響とすること。 ・ ホールのサイズに相応しい大きさのLEDビジョンを設置すること。

計画施設の概要（発表ホール）

● 主な要求事項（続き）

区 分	内 容
多目的ルーム	・ 3 部屋程度の多目的ルームを備えること。 ・ 各部屋は10人前後のミーティングや会議で使用することを想定しており、うち2部屋は間仕切を撤去して、大きな部屋として活用できるようにする。
渡り廊下	・ 雨天でも校舎側から濡れずに入れるよう、渡り廊下を設置すること。
自転車置場	・ ホール建築場所にある既設の自転車置場の一部については、費用対効果や利用者の安全性を考慮し、敷地内の別の場所への移設又は新設を提案すること。

計画施設の概要（発表ホール平面図イメージ）



計画施設の概要（通信制コモンルーム）

- **工事種別、建築物の構造・規模**

増築、鉄骨造（想定）、地上 1 階、132m²程度

- **主な必要諸室**

コモンルーム、キャリアカウンセリングルーム（2 室）、
通信制教員室（既存室の拡張） 等

計画施設の概要（通信制コモンルーム）

● 主な要求事項

区 分	内 容
建物配置等	・ 2号館北側に通信制教員室、通信制事務室、通信制印刷室に隣接するように増築すること。 ・ 既存の通信制教員室の北側の窓と腰壁を撤去し、増築部分と一体的な大きな部屋として運用する。
デザイン等	・ 県産材や温かみのある素材、ガラスなど透明性のある素材で部屋を構成すること。 ・ 風通しや採光のため窓の確保やガラス素材を組み合わせることで明るい前向きな環境にすること。

計画施設の概要（通信制COMMONルーム平面図イメージ）

